

別紙 1

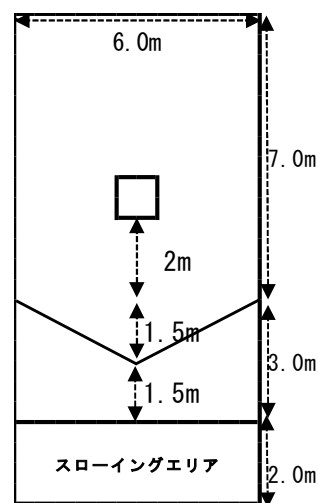
令和 7 年度曾於市 ニュースポーツ大会競技ルール補足

1 各種目の競技内容について

(1) ボッチャ競技

ア 競技の進行に関する事項

- ① 「日本ボッチャ協会競技規則」を準用して行い、一部以下の特別ルールを設けて実施する。
- ② ボールを投球する場所は下図の「スローイングエリア」内から投球する事。
- ③ 第一エンドの先攻後攻はジャンケンの勝者が決定する。また、ジャックボールの投球について、赤、青の順で各チームの希望者が投球する。
- ④ 1人1エンドプレイし（6球投球）、6エンドマッチとする。
6エンド終了時に同点の場合は各チーム代表者1人選出し、審判員が置いたジャックボールに各チーム代表が1球ずつ投球し、ジャックボールに近いチームを勝ちとする。なお同点時の先攻後攻はジャンケンで決定する。
- ⑤ ラインクロス等の反則行為は原則注意のみとする。



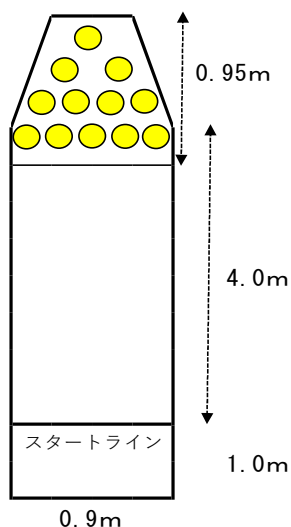
イ コート

- ① コートの大きさは12.5m×6.0mとする。

(2) スカッドボール

ア 競技の進行に関する事項（ルール含む）

- ① 先攻・後攻をジャンケンで決めます。先攻チームが赤ボール、後攻チームが白ボールとなります。
- ② スタートラインから、先攻チーム1名が5球打ち終えたら得点を計算し、次に後攻チーム1名が5球打ち得点を計算し1ラウンド終了とする。以降チーム全員打ち終わるまで（6ラウンド）おこなう。
- ③ パーフェクトチャンスとして持ちボール全部が、スカット台の穴に入った場合、さらに1球分追加で打つことが出来、得点が加算されます。
- ④ すべてのラウンド終了後、総合得点で勝敗を決定します。
なお、同点時は決勝ラウンドを行います。決勝ラウンドは、ジャンケンにより先攻・後攻を決定し、各チーム1人1球以上計5球を打ち、1ラウンドをプレイした総合得点により勝ちチームを決定します。**また、同点時の決勝ラウンドの点数は加算しません。**



イ コート

コートは主催者が準備するコートを使用する（右図参考）。

(3) ラダーゲッター

ア 競技の進行に関する事項

- ① 先攻・後攻をジャンケンで決めます。先攻チームが黄色ボール、後攻チームが青ボールとなります。
- ② スタートラインから、先攻チーム1名が6球投げ終えたら得点を計算し、次に後攻チーム1名が6球投げ終えたら得点を計算し1ラウンド終了とする。以降チーム全員が投げ終わるまで（6ラウンド）行います。
- ③ すべてのラウンド終了後、総合得点で勝敗を決定します。なお、同点時は決勝ラウンドを行います。決勝ラウンドは、ジャンケンにより先攻・後攻を決定し、各チーム1人1球以上計6球を投げ、1ラウンドをプレイした総合得点により勝ちチーム決定します。 **また、同点時の決勝ラウンドの点数は加算しません。**
- ④ ボールは原則下手投げとする。

イ コート

- ① スタートラインから標的までののは4mとします（右図参考）。

ウ 得点の見方

- ① 一番上のラダーにボールがハングする（掛かる）：3点
 - ② 真ん中のラダーにボールがハングする（掛かる）：2点
 - ③ 一番下のラダーにボールがハングする（掛かる）：1点
 - ④ 床にボールがバウンドしてハングする（掛かる）：5点
- ※ ラダーのサイドの縦パイプに引っかかってしまった場合、例えば3点と2点の間の縦パイプに掛かった場合は2点、2点と1点の間の縦パイプに掛かった場合は1点となります。ただし、1点と床や地面の間の縦パイプは得点になりません。

